

H^{OSTELLING} Magazine



COVER INTERVIEW

渡部陽一

まずは「ひとつだけ」でいい。
相手のことを知ってみるそこから、
変えていこう。



この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。





いつでも、どこでも、
おいしいは
あきらめない。

おいしいね、便利だね
Smartランチ
ランチパック

海外女子旅には
この1冊でOK!



旅好き女子のためのプチぼうけん応援ガイド

地球の歩き方

aruco

人気都市ではみんなとちょっと違う
新鮮ワクワク旅を。
いつか行ってみたい旅先では、
憧れを実現するための
安心プランをご紹介。
世界を旅する女性のための最強ガイド!



全38タイトル!

ヨーロッパ

- 1 パリ
- 6 ロンドン
- 15 チェコ
- 16 ベルギー
- 17 ウィーン/ブダペスト
- 18 イタリア
- 20 クロアチア/スロヴェニア
- 21 スペイン
- 26 フィンランド/エストニア
- 28 ドイツ
- 32 オランダ
- 36 フランス
- 37 ポルトガル

アジア

- 2 ソウル
- 3 台北
- 5 インド
- 7 香港
- 10 ホーチミン/ダナン/ホイアン
- 12 バリ島
- 13 上海
- 19 スリランカ
- 22 シンガポール
- 23 バンコク
- 27 アンコール・ワット
- 29 ハノイ
- 30 台湾
- 34 セブ/ボホール/エルニド
- 38 ダナン/ホイアン/フエ

アメリカン
オセアニア

- 9 ニューヨーク
- 11 ホノルル
- 24 グアム
- 25 オーストラリア
- 31 カナダ
- 33 サイパン/テニアン/ロタ
- 35 ロスマンゼルス

中近東
アフリカ

- 4 トルコ
- 8 エジプト
- 14 モロッコ

今後も続々
発行予定!

定価:本体1320円(税込)~
お求めは全国の書店で

旅の
テンションUP!

point 1
一枚ウワテの
プチぼうけん
プラン満載

arucoはハンディサイズなのに情報たっぷり!



友達に自慢できちゃう、
魅力溢れるテーマがいっぱい。
みんなとちょっと違うとっておきの
体験がしたい人におすすめ

point 2
aruco調査隊が
おいしい&かわいいを
徹底取材!



女性スタッフが現地で食べ比べた
グルメ、試したコスメ、
リアル買ったおみやげなど
「本当にイイモノ」を厳選紹介

point 3
読者の口コミ&
編集部のアドバイスも
チェック!



欄外には
読者から届いた
耳より情報を多数掲載!



取り外して使える
便利な
別冊MAP付!

編集部からの
役立つアドバイスも

ウェブ&SNSで旬ネタ発信中!

aruco公式サイト

www.arukikata.co.jp/aruco

aruco編集部が、本誌で紹介しきれなかったこぼれネタや女子が気になる
最旬情報を、発信しちゃいます! 新刊や改訂版の発行予定などもチェック☆

Instagram @arukikata_aruco X @aruco arukikata Facebook @aruco55



メルマガ配信!
登録はこちら

arucoのLINEスタンプが
できました! チェックしてね!



日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

こどもはおとなに。
おとなはこどもに、
なれる場所。



- 02 Cover Interview
渡部陽一
まずは“ひとつだけ”でいい。
相手のことを知ってみることから、
変えていこう。
- 08 Youth Hostel Pick up
乗鞍高原温泉ユースホステル
「人と人とのつながり」を紡ぐ
標高1,500mの温泉宿
- 12 Hostelling Magazine × 地球の歩き方
バルの美食に酔いしれる
スペイン、バスク地方の旅
- 16 鉄道写真家 櫻井 寛「列車で行こう！」
- 18 松島むうの晴れときどき旅びより
- 20 YH-GUIDE ユースホステルガイド
北海道 / 青森県 / 岩手県 / 宮城県 / 秋田県 / 山形県

※本誌の情報は2024年6月20日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL (03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

まずは”ひとつだけ”でいい。
相手のことを知ってみることから、
変えていこう。

Hostelling Magazine Cover Interview

Yoichi Watanabe

PROFILE |

戦場カメラマン

渡部 陽一 (わたなべ よういち)

1972年9月1日、静岡県富士市生まれ。明治学院大学法学部法律学科卒業。学生時代から世界の紛争地域の取材を続け、戦場のリアルな声を伝えている。訪れた国や地域は130カ国以上にのぼる。これまでの主な取材地として、イラク戦争のほかルワンダ内戦、コソボ紛争、チェチェン紛争、ソマリア内戦、アフガニスタン紛争、コロンビア左翼ゲリラ解放戦線、スーダン、ダルフル紛争、パレスチナ紛争、ウクライナ情勢取材など。著書に「世界は危険で面白い」(産経新聞出版)「MOTHER-TOUCH 戦場からのメッセージ」(辰巳出版)「ぼくは戦場カメラマン」(角川つばさ文庫)「硝煙の向こうの世界-渡部陽一が見た紛争地域-」(講談社)

旅人との情報交換が 戦場取材を支える土台になる

一戦場カメラマンとして世界各地の紛争地帯を巡ってこられた渡部さんですが、現地に滞在しているときはどんな宿に泊まっているんですか？

実は僕、ホステルやゲストハウスを本当に愛してやまないんです(笑)。20歳の頃から戦場カメラマンになり、限りある取材費の中でとにかく長く現地に滞在するため、利用するようになりました。現在51歳ですが、今でも利用しています。ホステルやゲストハウスの魅力は宿泊費がリーズナブルだけでなく、何と言っても「情報」が呼吸を持ってうごめいているという点だと思います。長期間現地で暮らしながら、世界各地からやってきたアーティストやミュージシャン、バックパッカー、サイクリストなど、さまざまな職種の方々と、お互いの仕事のことやこれから向かう国や地域のこと、危機管理の方法、これまで訪れた旅先での経験を交換することができる。

そして、ホステルやゲストハウスには「情報ノート」と呼ばれるノートが置いてあることが多いんです。そのノートには世界中を旅するバックパッカーたちが記した膨大な情報が残されていて、現地の情報が少ない地域を取材するときには、このノートに記された情報が重要なライフラインになります。イラクの首都・バグダッドに向かったときは、隣国のヨルダンの首都・アンマンに滞在して、現地の情報ノートで情報を収集しました。ノートにはアンマンからバグダッドへの国境の越え方や、イラク国内のバスやタクシー、宿泊費の相場から、滞在費用を抑えるための交渉のコツなどが事細かに書き記されていたんです。そのノートと自分自身が持っている情報とを重ね合わせながら、国境を越え、前線に入っていました。

僕にとって、ホステルやゲストハウスに集まる情報の一つひとつが、取材を支える土台になるんです。戦場報道において一番大切なことは「移動する力」です。必ずカメラを持って前線にたどり着くこと。たどり着いたら写真を撮り、撮った写真を必ず持ち帰り、発表し、世の中に届けること。この2つのことを実現する上で、世界中の情報ノートには本当に助けられました。戦場カメラマンとして前線に入るための動き方というのは、バックパッカーの「いかにコストを抑えて陸路で国境を越えるか」というノウハウに重なる部分がとても多いんです。

一旅人の情報がそんなふう役に立っていたんですね！

とても重要な情報源なんですよ！もちろん、ただ情報ももらうだけではなくて、僕自身も感謝の思いを込めて、自分の持っている情報を一番新しい「呼吸のある情報」としてノートに書き残していました。インターネットが今ほど普及していなかった当時の情報ノートは、記入者同士がお互いをリスペクトし支え合う雰囲気があって、違う宿で同じペンネームの方の書き残した

情報を見つけて「あ、この方、ここにも来てる！」ということも、あったり。また、その方と偶然出会ったりすると「あなたがその方だったんですね！あなたの情報にすごく助けられたんです！今持ってきた情報もありますので、一緒にご飯を食べながら話しましょう」…とすぐに意気投合できる(笑)。五感が密に絡み合う場所が、僕にとってのホステル・ゲストハウスなんです。

一これまでいるんな国や地域のホステルやゲストハウスを利用してこられたと思うのですが、特に印象に残っている宿はどこですか？

これはユースホステルではないのですが、20代の頃に滞在したウガンダの宿がとても印象に残っています。首都・カンパラのバス停を降りるやいなや、宿の仲介人のような人に「リーズナブルに泊まらせてあげるからおいで！」と連れていかれた先が、30人ほどのソマリアの難民が暮らすボロボロの避難宿だったんです。その宿は…とにかく…虫がすごく(笑)、ベッドの上にもたくさんの虫がいて…。「これはこのままこのベッドで寝たら大変なことになるぞ…」と、7畳ほどの部屋の中に持参していたソロテントを張って、テントで生活していたんです。とても大変な環境だった一方で、そこでの滞在が、僕にとっては取材そのものでした。同じ宿に泊まるソマリア難民の彼らがなぜ祖国を離れ、ウガンダに逃げなければならなかったのか、問題の背景を彼らとの交流を通じてとても深く知ることができたんです。そのときに「そうか、こうして一緒に生活することによって、そこで暮らす方々がたどってきた歴史や暮らし、思い、悲しみ、喜びを知ることができるんだ。これも取材のひとつの入り方なんだ」と気付かされたことを鮮明に覚えています。

また、その宿に滞在している間、難民の方々がいつも僕のテントに、ある料理を届けてくれたんです。その料理というのが、パスタなんです。ソマリアという国は、歴史上イタリアの植民地だったこともあって、パスタをよく食べるんです。ただ、私たちが普段レストランで食べるようなものとは違って、茹でたパスタに缶詰のトマトソースがほんのわずかにかかっただけなんですけど、そのパスタを初めて食べたとき「パスタって…こんなにおいしいのか！」と感動したんです。パスタそのものの味わいの深さを感じる料理で、あのときのソマリアのパスタのおいしさは今でも忘れられません。

一食べてみたい！でも、きっとそこでしか味わえないパスタですよ…。

これまでの取材経験の中で、いわゆる「良いホテル」に泊まったこともあるんです。清潔な部屋で空調が効いていて、バスタブがあってバスソルトなんか置いてあるようなホテルです。快適ですし「せっかくだから」とバスソルトの入った湯船に浸かってみたりして(笑)。でも、確かに心地いいんですけど、突き抜けるほどのハッピーという感覚がないんです。ホステルやゲス



Yoichi Watanabe

トハウスに泊まったときのワクワクやドキドキ、ソマリアの難民の方が作ってくれたパスタを食べたときの感動や熱量を超えることはありませんでした。

一そういった突き抜けるような感情や熱量は、若い頃の感覚があったから体験できたものなののでしょうか？

年齢というよりも「初体験」ということが大きいと思います。「どこに宿があるかわからない」「価格も記帳の仕方もわからない」「何かトラブルに巻き込まれたらどうしよう」。当時の僕にとっては旅のすべてが初体験で、いろいろな感情が膨らんでいたから、体験できたのだと思います。一度経験したことは「きつこつという感じだろうな」という知識と経験から、余裕が出てきますよね。余裕があるからできる楽しみ方もありますが、ワクワクやドキドキを感じるにはジャンルを問わず「初体験」に挑戦することが大切なのだと思います。

ホステルやゲストハウスで過ごすときのある種の苦しみであり、喜びでもあるのが「暇で暇でしようがない」ということです(笑)。でも、この「暇で暇でしようがない」って、実は一番贅沢な時間だと思うんです。「暇で暇でしようがない」から、みんなでリビングに集まって朝まで語ったりして、友人ができたりする。僕は何カ月も海外に滞在するようになるまで、自分から進んで本を読むことがなかったんです。でもある日、本当に暇で暇でしようがなくて、ホステルの本棚に並んでいる日本語の小説を自分の部屋でパラパラと読んでみたんです。そうしたら、無意識のうちに集中していて、突然、活字が自分の中にギュッと染み込

んでくるような感覚を味わったんです。「なんて綺麗な文章なんだろう」「なんて輝いている言葉なんだろう」「なんてわかりやすく書かれているんだろう」と。その感覚を味わうと、同じ本を何回も読むようになり、その作品のどんな部分に自分が惹かれているのか次第にわかってくる。そこから同じジャンルの小説や雑誌を読んだりすると、一定の周期の中で突然またギュッと文字が自分の中に染み込んでくる感覚があって。読書の面白さや活字の持つ力強さに気付けたことは「暇で暇でしようがない」から得た最大の財産だと思っています。有り余る時間は、自分は本当は何が好きなのかに気付き、突き詰め、引き寄せることができる絶好のチャンスなのだと感じています。

人生を大きく変えた、 ジャングル奥地での出来事

一渡部さんは10代の頃はどんな少年時代を過ごされていたのでしょうか？

僕の故郷は静岡県富士市田子の浦という港町で、大学に進学する18歳までそこで育ちました。子どもの頃から父のカメラを借りて家族や友達の写真を撮るのが好きな少年でした。10代の頃は、1人で自転車で乗って旅をしたり、青春18きっぷを使ってひたすら遠くに行ってみたり。祖父母の家を訪ねたり、北海道や岩手、宮城、大阪、岡山、広島、九州…いろんな場所へ一人旅をする、そんな少年時代でした。

—その頃からすごい行動力の持ち主だったんですね！そんな渡部少年が戦場カメラマンという仕事を志すようになった“きっかけ”は何だったのでしょうか？

大学1年生のときに受けた生物学の講義で、教授が僕に「アフリカの中央部のジャングルには、いまだに狩猟生活を送っている『ムプティ族』という民族がいて、周辺のジャングルには言葉を理解するチンパンジーが暮らしているんだよ」という話をしてくれました。そのムプティ族の話聞いたときに、ひっくり返ってしまいそうほどワクワクしたんですね。「そんな民族が本当

にいるのであれば、直接彼らに会ってみたい」と思い立って、すぐにアルバイトで貯めたお金で格安航空券を購入して、ジャングルへ向かいました。…とはいえ、日本からの直行便はないので、まずは飛行機で日本からインドに入り、インドから別の飛行機に乗り換えてケニアのナイロビへ。ナイロビからバスと乗合トラックを乗り継いでザイル(現在はコンゴ民主共和国)のムプティ族がいるジャングルへと向かっていたとき、ルワンダ紛争(フツ族とツチ族の民族衝突)に巻き込まれ、武装勢力から襲撃を受けた現地の子どもたちが、泣きながら僕に助けを求めてきたんです。でも…そのときの僕には、彼らを助けることができなかった。

「自分には何ができるんだろう」と考えたときに、子どもの頃から好きだったカメラで写真を撮ることで、過酷な状況に置かれ、今も泣いている子どもたちが世界にはいるんだと気付いてもらえるんじゃないか。たくさんの人に気付いてもらえたら、泣いている子どもが少なくなるんじゃないか…。頭に浮かんだのが、戦場カメラマンという職業だったんです。それから、僕の戦場カメラマンとしての道のりが始まりました。

戦場カメラマンになったばかりの頃は「オートボーイ」という当時8,000円ほどで購入したフィルムカメラを持って世界を飛び回っていました。でも、お金がなくて十分なフィルムが用意できず、撮れる写真の枚数には限りがありました。その上、僕は撮った写真をどこに発表すれば子どもたちの声を届けられるかもわからなかったで、がむしゃらに新聞社や雑誌の出版社の代表番号に電話をかけて「写真を見てください！ソマリアやザイルで泣いている子どもたちです！」と飛び込みで写真を持って行きました。しかし、1年経っても、5年経っても、10年経っても、僕の写真は1枚も使ってもらえなかったんです。

—10年間も…。なかなか結果が出ない中で活動を続けられた原動力は何だったのでしょうか？

日雇いのアルバイトでお金を貯めて、戦場に行き取材をして、帰国してまたアルバイトをしてという生活を送る僕に、写真の先生がこんなことを言ってくれたんです。「陽一、『石の上にも15年』だぞ。自分で納得をして、覚悟を決めた道なら、必ず毎日こつこつシャッターを切り続けていきなさい。必ず毎日、いろんな写真を見続けなさい。こつこつ写真を続けていけば、必ず15年という歳月が過ぎたとき、自分がイメージをした目標を足元に引き寄せることができるはずだから」と。

そして、この「石の上にも15年」という先生の言葉を信じて活動を続けた結果、僕が35歳になる少し前に、生まれて初めて日本の週刊誌の見開きのグラビアページで、ソマリアで泣いている戦場の子どもの写真を掲載してもらうことができました。本屋さんに雑誌が積み上げられているのを見たときは「先生が言っていたことは本当だったんだ…。アフリカの子どもの声を、やっと届けることができました！『石の上にも15年』は本当だったんだ！」と、身体が武者震いのようにブルブルと震えて、

呼吸がうまくできなくなるほど感動したことを覚えています。すぐにその本屋さんに並んでいる雑誌を5冊ぐらい買って、駅のキオスクでも2冊買って、また別の本屋さんでも買って(笑)、両親、友人、そして写真の先生に届けました。もちろん、僕自身も大切な原点として「石の上にも15年」という言葉と共に大切に保管しています。

—もし「渡部さんのように戦場カメラマンになりたい」という思いを持って、若者が戦場に向かおうとしていたら、どのように声をかけますか？

僕は戦場カメラマンとして、戦場カメラマンになることを人に勧めることは絶対にありません。ただ、自分で考え、納得をして、覚悟した道が、いろいろな職種がある中で戦場カメラマンの道というのであれば、危機管理や世界各地に関する情報、写真の撮り方など、伝えられることはあると思います。どんな職業であっても、自分が納得した道を、自分なりのスタイルで、安全を足元に引き寄せながらこつこつと進んでほしいと思っています。

戦争のない世界への第一歩は相手のことを知ってみることから

—危険な地域をたくさん旅してこられた渡部さんに、安全に旅をするためのアドバイスをぜひいただきたいです！

まず1つ目は、夜に出歩かないことです。これは特に海外で過ごすときの危機管理の基本です。もちろん、海外にも夜出歩いても安全な場所はたくさんありますが、知らない地域・場所では、基本的には日が落ちる前に宿に戻ることを身を守る上で重要です。

そして、2つ目。旅先での出会いはとても素敵なものですが、初対面のひととの会話で「お金」に関する話題が出たときは要注意です。相手がどんなに優しく、人当たりの良さそうな人に見えたとしても、お金の話がポロポロと出たときには一歩引くようにしてください。観光地には旅行者のお金を目当てに寄ってくる人たちもいます。気を付けてください。

3つ目は、お財布を持たないこと。お金はいろんな場所に分散させておいて、すぐに出せるようにすることが危機管理において有効です。「綺麗な財布はトラブルを引き寄せる」といわれるくらい、旅先でお財布を見せるとまるで撒き餌を撒いたように、いろいろなトラブルが集まってきます。現地の人と交渉をしたり、買い物をするときに、お財布からお札を出して枚数を数える、なんてことはしないようにしてください。

—なるほど！とても参考になります！

基本的な心構えとして「犯罪のプロには敵わない」と理解することが大切です。彼らはものすごく旅行者のことを見ています。こちら側が徹底的に対策をしたつもりでも、プロはそれを超える技を組み立ててくるので「プロには敵わない」という意識を持っておくと、旅先での動き方が変わってくると思います。ただ、過度に警戒しすぎてしまうと、旅を楽しむことができません。特に海外を旅するときには、わからないことも多く、緊張してしまう部分があると思います。そんなときは、現地の人にその国の言葉で自分からあいさつをしてみてください。現地の言葉で「こんにちは」と伝えると、緊張していた空気がまるで何もなかったかのようにとろけて、途端に相手が笑顔になります。あいさつは緊張感を和らげてくれるスイッチとしてとても有効な手段なので、ぜひ試してみてください。

—最後に、どうしても聞いてみたかったことがあります。歴史を振り返ると人類は戦争を繰り返してきていて、今、世界を見渡しても変わらず戦争が起っています。「もう人類は“戦争のない世界”を作れないんじゃないか？」とも思ってしまうのですが…、どうすれば戦争のない、平和な世界に近づくことができると思いますか？

世界中で起っている戦争には、さまざまな理由があります。国境であったり、民族であったり宗教であったり、水やエネルギー資源を巡った戦争もあります。ただ、理由はさまざまでも「まずはひとつだけでいい。相手のことを知ってみること」が重要だと僕は思っています。「どうしてこの国はこういうことを考えているんだろう」「イスラム教ってどんな宗教なんだろう」「ガザ地区の人たちはどうして泣いているんだろう」「イスラエルの人たちはどうしてこんなに強硬に攻撃を仕掛けるんだろう」など、もちろんお互いのことを知っているからこそ戦争が起こるんですけど、戦争の背景にある入口を知るだけで、肩の力を抜いて柔らかく相手に寄り添っていきける感覚が染み込んでいくはずなんです。これが、世界から衝突を徐々に止めていくための入口になっていくと思います。

今、戦場の最前線で起っていることは、家族や子どもたちを目の前で殺害されるという、血を巡る報復の連鎖です。外交や人権や倫理や道徳、エネルギーが国境問題というものをすべて凌駕して、怒りと悲しみが報復の連鎖を生み出しています。戦いを止めるためには、まずお互いの入口を知って、声を聞く。そこから戦闘を止めていく交渉の選択肢を広げていく。その入口を多くの人に届けていくのが、僕の使命だと思っています。



読者
プレゼント

抽選で 戦場カメラマン渡部陽一著『晴れ、そしてミサイル』を**3名様にプレゼント!**

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用お申し込みフォームから！

<http://www.jyh.or.jp/hmq> 応募締め切: 2024年8月末日

※当選者にはご応募時にご登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。
©jyh.or.jpからのメールが受信できるように設定をお願いいたします。

自然に囲まれてリフレッシュ!山の薬膳も楽しめます!!
乗鞍高原温泉ユースホステル

長野県中信地方・松本市の乗鞍高原にあるユースホステル。JR中央本線「松本駅」から松本電鉄上高地線で30分、終点の「新島々(しんしましま)駅」でバスに乗り換えて乗鞍高原へ。「スキー場前」停留所を降りて徒歩約10分の場所にある。車なら、長野自動車道・松本ICから約1時間。上高地や白谷温泉のほか、岐阜県の奥飛騨などへも、1時間程度で足を伸ばせる。



〒390-1513 長野県松本市安曇鈴蘭4275
電話:0263-93-2748
URL: <http://norikura.biz/>

Youth Hostel Pick up

「人と人とのつながり」を紡ぐ
標高1,500mの温泉宿

乗鞍高原温泉ユースホステル

北アルプスの峰々が織りなす、
乗鞍高原の豊かな自然景観

北アルプスの南端、中部山岳国立公園に位置する乗鞍岳。100万年以上活動を続けている火山で、23の峰で構成されている。最も高い剣ヶ峰は3,026mと、火山としては富士山、御嶽山(おんたけさん)に次ぐ標高だ。秀麗な山容は訪れる人を魅了し、日本百名山にも数えられている。

その東麓に広がり、豊かな自然景観が形成されている乗鞍高原。春・夏はトレッキング、秋は紅葉狩り、冬はスキー・スノーボードと、多彩なアクティビティが楽しめる山岳観光地となっている。そして、旅人たちを癒すのが「乗鞍三湯」と呼ばれる温泉だ。なかでも乗鞍高原温泉は、乳白色の単純硫黄泉。殺菌力が強く、

新陳代謝を活発にするとされる天然の湯が、身体をしっかり温めてくれる。

今回は、その温泉郷にある「乗鞍高原温泉ユースホステル」を訪れた。山々の緑と調和する、木の温もりあふれる建物。標高約1,500mの高地ならではの自然と冷涼な気候の中で、ゆったりとくつろげる宿だ。全国でも珍しい、ワンちゃんと一緒に泊まれるユースホステルでもある。お話を伺ったのは「3代目」として宿を取り仕切るマネージャー・小澤優次郎(おざわ・ゆうじろう)さん。生まれ育ったこの宿で働くことを決意した理由や、50年以上の歴史を持ち、親子連れをはじめ多くのリピーターに愛され続けるユースホステルの魅力、今後の展望などについて語っていただいた。

「人が喜ぶ姿を見るのが好き」という思いが、
ユースホステルで働く決め手に

小澤さんは幼少期から、乗鞍高原温泉ユースホステルを拠点に旅をする人々とのつながりを感じながら成長していったという。「いろいろな年代の方々に囲まれた環境が楽しかったです。リピーターの方にすごくかわいがってもらって、トレッキングや散歩に連れていってもらったこともありました(笑)」家族と旅にも出かけた。地元以外の地域にも興味が向き、高校は県外に進学。寮での集団生活も、ユースホステル仕込みのコミュニケーション力で、多くの仲間と充実した時間を過ごした。修学旅行では、小学3年のときに行ったオーストラリアに再び訪問することになった。

「改めて訪れて、オーストラリアと日本では、人との接し方に違いがあることに気がきました。誰とでもフランクに接するのがオーストラリア流。それがとても新鮮でしたね」

京都の大学では学業の傍ら、飲食やプライダルなど接客のアルバイトに励んだ小澤さん。人とつながることの楽しさを、さらに感じるようになっていたとき、卒業後の進路として、実家である乗鞍高原温泉ユースホステルが自然と浮かんでいた。「僕はやっぱり、人が喜んでいる姿を見るのが好き。お客さまをもてなしたり、料理をつくったりして、喜んでもらうのは性に合っていると思いました。メディア業界などへの憧れもありましたが、乗鞍高原という観光地のユースホステルで「親しい他人」ができる楽しさは特別なものがある。そう考えて、卒業後すぐに地元に戻りました」



客室は和室と洋室の2タイプ。どちらもシンプルだが、どこか懐かしい雰囲気のお部屋。



季節ごとにガラリと変わる乗鞍高原の景色。ダイニングに設けられた大きな窓は、その移ろいを楽しむのにピッタリの特等席。



今回お話を伺ったマネージャーの小澤優次郎さんと看板犬のももちゃん。

ワンちゃんもOK 自然に抱かれ、旬の食と温泉に癒される宿

乗鞍高原温泉ユースホステルは「都会の喧騒を忘れられる宿」と語る小澤さん。自然の中で、アクティビティを通して気持ちよく汗をかき、心身をリフレッシュできるのが魅力だという。

「周辺は比較的登りやすい山が多いので、初心者の方も気軽に登山体験ができる。乗鞍高原には湿地帯が広がり、三本滝などの名瀑もあるので、山に登らなくても楽しめるスポットがたくさんあります。ユースホステルに帰ってきたら、源泉掛け流しの天然温泉と最近導入したミストサウナで疲れを癒してください！」

客室は、落ち着いた佇まいの和室と洋室が計6室。ドミトリーが基本だが、家族や夫婦で1ルームを用意することもできる。そして、ワンちゃんとともに過ごせるのもこの宿ならではの。愛犬家である母のいづみさんの代から始めたサービスだ。

「夏の都市部は気温が40℃近くまで上がることもあって、ワンちゃんの散歩の時間が少なくなると聞きます。乗鞍高原は夏でも30℃に届くことはほとんどないので、犬も人間も快適に過ごせる環境。冬場はスキーで訪れるお客さまも多いですが、ワンちゃんが慣れてくれているなら、飼い主の皆さんが滑っている間、宿でお留守番してもらってもできます」

春は山菜、秋ならきのこなど、四季の食材でつくる料理も人気を博している。海釣りが趣味の小澤さんが、富山湾で獲った新鮮な魚介をふるまうことも。

「できるだけ旬のものをお出ししているので、食事を楽しみにいらっしゃるお客さまも多いですね。要予約にはなりますが、信州名物のそばや、ランチ、バーベキューなどのご用意も可能です」



旬の食材にこだわった料理が並ぶ乗鞍高原温泉ユースホステルの食卓。



旅の夜に嬉しいボードゲームの数々は、旅人同士をつなげる魔法のアイテム。



自慢のお風呂は、源泉掛け流しの乳白色の温泉！



ナノミストサウナは「じんわりと身体の芯まで温まる」と好評なのだとか。

年代を問わず、誰もが楽しめるユースホステルを目指して

2023年、小澤さんはユースホステル運営者向けの研修制度を利用して、ドイツへの派遣事業に参加した。6名のメンバーとともに、南部のミュンヘンから首都ベルリンまで、10カ所のユースホステルを訪れる2週間の行程だ。

「驚いたのは、規模の大きさ。そして『お城を改築した、歴史を学べる宿』など、ユースホステルごとに特徴づけがされている点です。近隣の牧場や農場と契約して食材を仕入れ、地域全体でサステナビリティに取り組む姿勢も印象的でした。なかでも『moun10(マウンテン)ユースホステル』という山あいの宿は、乗鞍高原温泉ユースホステルと環境が似ていて、学ぶことが多かったですね」

ドイツでの経験を生かし、さらに宿に磨きをかけようと奮闘する小澤さん。今後も大切にしたいのは、やはり「人と人とのつながり」。不登校の子どもたちを招待して、乗鞍の大自然を体験してもらい取り組みも続けている。

「このユースホステルでは、夕食後に宿泊者同士が食堂で話したり、僕がそろえたボードゲームで遊んで盛り上がったりするのが日常です。意気投合して『明日は一緒に上高地行こうか』なんてことも。ここには、初めて会った人が顔を突き合わせて、年齢関係なく交流できる雰囲気があります。昔と違って、ユースホステルの利用者は若い方だけではなく、ファミリーを含め、年代を問わず、来た人それぞれが楽しく過ごせる。そんな宿をこれからもつくっていきたいですね」

A 手作りパウムクーヘン工房 ヤムヤムツリー



2015年にオープンした「日本で一番標高の高い」パウムクーヘン工房。長野県産の素材と、空気の薄さを生かして焼き上げた、ふんわり、しっとりとしたパウムクーヘンは絶品だ。

松本市安曇4306-8
TEL:0263-93-2360

B ジェラート&カフェ GiFT NORIKURA



乗鞍の自然が生んだ豊かな恵みに出会えるカフェ。乳化剤・保存料不使用の優しい甘さが特徴のジェラート、乗鞍で焙煎した香り豊かな淹れたてコーヒーをゆったりと味わおう。

松本市安曇鈴蘭4306-5
TEL:0263-93-2746

C 一の瀬園地



写真：松本市アルプスリゾート整備本部

白樺林や温泉、池が点在する広大な草原の向こうに、乗鞍岳を眺められるビュースポット。遊歩道を散策しながら、川のせせらぎや鳥のさえずりに癒されるひとときを楽しめる。

松本市安曇鈴蘭
TEL:0263-94-2307
(市アルプスリゾート整備本部)



乗鞍高原ってこんなところ！

古来、信仰の対象として遍拝され、修行の場にもなっていた乗鞍岳。その麓にある乗鞍高原は1934年に「中部山岳国立公園」に指定され、山岳スキーの合宿地として各地から人々が訪れるようになった。1963年には乗鞍岳につながる「乗鞍工コーライン」が開通し、温泉の引湯も開始。山岳観光の拠点として発展してきた。乗鞍高原がある松本市安曇(あづみ)地区の前身は旧安曇村。2005年の市町村合併で松本市に仲間入りした。このページでは、乗鞍高原温泉ユースホステルからアクセスしやすいスポットを紹介する。

乗鞍高原おすすめ SPOT

D 善五郎の滝



写真：松本市アルプスリゾート整備本部

小大野川に形成された「乗鞍三滝」のひとつ。幅約8m、落差は約22mを数える。滝見台から滝を望むと、背後には乗鞍岳が。厳冬期には荘厳な氷瀑としての姿を見せてくれる。

松本市安曇鈴蘭
TEL:0263-94-2307
(市アルプスリゾート整備本部)

E 牛留池(うしどめいけ)



写真：松本市アルプスリゾート整備本部

原生林の中にある、静寂に包まれた神秘的な池。天気恵まれれば、水面に乗鞍岳が逆さに映る絶景が見られる。植物や野鳥を愛でながら、大自然に身を任せてみよう。

松本市安曇鈴蘭
TEL:0263-94-2307
(市アルプスリゾート整備本部)

F 三本滝



写真：松本市アルプスリゾート整備本部

こちらも乗鞍三滝に数えられる「日本の滝百選」に選出された名瀑。「無名沢の滝」「本沢の滝」「クロイ沢の滝」が約50~60mの落差を流れ落ち、1カ所に合流する様は圧巻だ。

松本市安曇鈴蘭
TEL:0263-94-2307
(市アルプスリゾート整備本部)



抽選で **ペア宿泊券(1泊2日)1名様にプレゼント!**

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用お申し込みフォームから!

<http://www.jyh.or.jp/hmQ> 応募〆切:2024年8月31日

※当選者にはこの応募前にご連絡いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。
@jyh.or.jpからのメールが受信できるように設定をお願いいたします。



バルの美食に酔いしれる

スペイン、バスク地方の旅



Spain / Basque

(サン・セバスティアン、ビルバオ)

スペイン北部、フランスとの国境にも近いバスクは、独特の文化と風習が息づく地方。

「世界一の美食の町」として名高い

サン・セバスティアンと「アートの町」ビルバオ。

バスクを代表する2大都市の魅力を探る。



カウンターにピンチョスが並び、バスク地方の伝統的なバル

ジェネラルインフォ in スペイン

時差: 日本より8時間遅れ。サマータイム実施期間(3月最終日曜~10月最終日曜)は7時間。

ビザ: 観光を目的とした滞在の場合、90日以内なら不要。

通貨: ユーロ(2024年5月現在€1=168.05円)

物価: 宿泊費や外食費など、日本とほぼ変わらないかやや高い。特に円安の昨今、物価は日本よりも高く感じる人が多い。

ベストシーズン: 春から秋にかけての4~10月が観光シーズン。ビーチで泳ぐなら、盛夏の7~8月がベスト。バスク地方はスペインの北部にあるため、夏でも比較的涼しくて過ごしやすい。

スペインのユースホステル情報: <https://reaj.com>

詳細は「地球の歩き方 スペイン」
「arucoスペイン」へ→



スペインを代表する避暑地 サン・セバスティアン San Sebastián

「ビスケー湾の真珠」と称されるサン・セバスティアンは、ブルーの海に面した美しい港町。昼はビーチでまどろんで、夜はバルでピンチョス三昧。これがこの町の過ごし方。



モンテ・イゲルドの丘から市街を見渡す



サーファーたちの姿も多い



ビーチ沿いには遊歩道がある

町のすぐそばにある ビーチでのんびり

町はコンチャ湾沿いに広がっており、小高い丘になったモンテ・ウルグルの南側にある旧市街が観光の中心。石造りの優美な旧市街の町並みは、中世にはサンティアゴ巡礼路の宿場町として栄え、19世紀にはハプスブルク家の王妃マリア・クリスティーナの保養地となり避暑地としてヨーロッパ中に名をはせた。

湾に沿ってコンチャ海岸というビーチがあり、夏には海水浴を楽しむ人々にぎわう。町に到着したら、まずは西にあるモンテ・イゲルドの丘に上り、美しく湾曲する海岸線を眺めよう。そのあとはビーチ沿いをゆっくりと歩いて旧市街へ。博物館や教会を回ったりと思いに過ごしたい。



19世紀に建てられた市庁舎

夜になったら 旧市街のバル巡り

日が沈んだら、旧市街のバル街へ。ここからがサン・セバスティアンの本当の楽しみと言っても過言ではない。旧市街にはたくさんのバルが密集し、食べ歩きを楽しむ人たちがいっぱい！あらかじめチェックした店に行ってもいいし、町歩きの最中に気になった店にふらりと立ち寄ってみるのも面白いだろう。

スペインでは、ひとつのバルに長居するのではなく、いくつかのバルをはしごするのが粋な楽しみ方。ピンチョスというおつまみと一緒に、アルコールを思う存分味わって。バル以外にもミシュラン3つ星を獲得したレストランが10軒以上もあるなど、美食の町として知られている。



ビールやワインで「サルー(乾杯)」!



夜の町をバルを求めて歩こう



バルのカウンターにはピンチョスがびっしり!



屋外にも席がある店も

バスク地方の中心都市

ビルバオ

Bilbao

バスク地方の産業と文化の中心として栄える町、ビルバオ。スペインのモダンアートの拠点でもあるグッゲンハイム美術館を要する芸術都市としても知られる。

川沿いを歩いてモダンアートに触れる

ビスケー湾に注ぐビルバオ川の両岸に広がる町。川に面したシルバーの斬新な建物が、グッゲンハイム美術館だ。ニューヨークの同名美術館の分館として1997年にオープン。以来スペインにおけるモダンアートの殿堂としてその名をとどろかせている。南にはビルバオ美術館もあり、旧館では12~17世紀のスペイン絵画を、新館では現代美術の作品を展示している。ビルバオ川の河口には、世界最古の運搬橋・ビスカヤ橋がある。全長約160mの鉄橋で、橋桁からつり下げられたゴンドラで橋を渡れる。ゴンドラは地元の人々の足として使われているほか、観光客にも大人気。町の中心からは地下鉄で20分ほどなので、アート鑑賞と一緒に1日で回ることができる。



フランク・ゲーリーの設計したグッゲンハイム美術館



建物前に置かれた「バビー」。美術館のマスコットの存在



夜にはライトアップされる

旧市街のバルで創作ピンチョスを堪能!

ビルバオの夜の楽しみもまた、バル巡り。町はビルバオ川を挟んで西が新市街、東が旧市街と大きく分けられる。グッゲンハイム、ビルバオの両美術館があるのは新市街。旧市街には商店や市場が点在しており、当てもなく散策するのが楽しい。バルが集中するのは旧市街のヌエバ広場一帯。伝統的なピンチョスのほか斬新な創作ピンチョスを提供する店も多く、バルをはしごするたびに新たな味に出合えるのがうれしいところ。見た目がユニークなピンチョスもあるので、写真に撮ってSNSにアップするのもおすすめです。



昼から営業のバルも多い

運河に沿って歩いてみるのもおすすめ



1893年に開通したビスカヤ橋



新市街の中心、モユア広場



そぞろ歩きが楽しい旧市街

美食の町でバル巡り



スペインに来たら、絶対に行きたいのがバル! 各町に必ずあるが、バスク地方はその本場といわれる。バルは、数軒はしごするのが通なのだ。



<おすすめのバル>

サン・セバスティアン

ボデガ・ドノスティアラ
Bodega Donostiarra

1928年に創業した老舗のバル。伝統的なバスク料理をベースとしたピンチョスが味わえる。観光客のほか地元の人にも人気がある。

住所: Peña y Goñi 13
TEL: 943 011 380
URL: www.bodegadono
stiarra.com/en

ビルバオ

グレ・トキ
Gure Toki

ヌエバ広場の一角にある人気店。カウンターには、見た目もきれいな創作ピンチョスが並んでいる。数々の受賞歴がある実力派。

住所: Plaza Nueva 12
TEL: 944 158 037
URL: www.guretoki.com

バルとは何?

バルとはスペイン版の居酒屋で、主にカウンターがある飲食店のことを指す。カウンターにはおつまみとなるピンチョスがズラリ。

バスク地方の名物料理

海に面しているだけに、新鮮なシーフードを使った料理が豊富。なかでも「バカラオ」という特産の干ダラを使ったものが有名。



チピロネス・エンス・ティンタ
Chipirones en su tinta
軟らかなヤリイカのイカスミ煮込み。ライスが添えられることが多い



トルティーリヤ
Tortilla
具材がたっぷり入ったバスク風オムレツ。ふわりとした食感が特徴

バカラオ・アル・ピル・ピル
Bacalao al pil pil
干ダラをニンニクとトウガラシ風味のオリーブオイルで煮込んだ料理

ピンチョスのお供はコレ!

ピンチョスと一緒に頼みたいのは、バスク伝統の微発泡ワインのチャコリやリング酒のシードラ。



ピンチョスとの相性抜群

チャコリは上から勢よく注ぎます!



青トウガラシにオリーブ、アンチョビを刺したヒルダ Gilda



濃厚なフォアグラを使った贅沢ピンチョスのフォイエ Foie



ハモン・セラーノ Jamón Serranoという生ハムがたっぷり!



スペイン風コロケットのクロケッタ Croqueta。具はさまざま



ガリシア名物のタコ料理、プルポ・ガリエーゴ Pulpo Gallego



スペインでは、シラスも食べる。ピンチョスでも人気メニュー

バルの利用方法

入店からピンチョスの注文、お会計まで、バルの基本的な利用方法はこちら。実際に現地に行く前に知っておくと安心。

STEP 01 気になった店へGo!
予約は基本的に不要。テーブルでもカウンターでも空いている席に座ろう。



STEP 02 ピンチョスをオーダー
オーダーはセルフ。カウンターに行き好きなピンチョスやドリンクを選ぶ。



STEP 03 着席、ピンチョスを味わう
頼んだドリンクとピンチョスを受け取ったら、席に戻り思う存分に味わって!



STEP 04 会計を済ませて退店
食べ終わったらレジで会計。基本的に後払いだが、料理の受け取り時に払ってもOK。

ピンチョスとは?

パンの上に野菜を乗せ、楊枝や串を刺したものがピンチョス。片手で食べられるフィンガーフードで、代表的なメニューはこちら!

連載

鉄道写真家 櫻井 寛

列車で行こう!

Let's go by train!

Railway-Photographer Kan Sakurai



第1回 特急「ゆふ森」で行こう!



J R九州は魅力的なD&S列車(観光列車)を多数運行しているが、中でもパイオニアとなったのが「ゆふ森」こと「ゆふいの森」号である。今から35年前、JR九州発足から2年後の1989年に九州初のリゾート特急「ゆふいの森」号は誕生した。列車名は由布院駅、湯布院温泉、湯布院町(現・由布市)など、発音は同じでも漢字が異なることから平仮名とし「ゆふいの森」と命名された。それまでの特急といえば「ひかり」「こだま」など名詞一字だったが、格助詞の入った初の特急となった。外観にはまさに「ゆふいの森」をイメージさせる濃い緑色を採用。車内は眺望のよいハイデッカーで、インテリアには天然木が多用され、列車内に居ながらにして、あたかもゆふいの別荘に来たかのような気分が味わえるというわけだ。

特急「ゆふいの森1号」の博多駅発車は9時17分。5両編成で1番

人気は先頭1号車のパノラマ展望席だが、あいにく展望席は売り切れのため私が選んだのは4号車のキサハ72形だった。4号車は森の中にいるかのようなインテリアなのだが、実はこの車両のみ床下にエンジンがない。その分、静かな乗り心地が楽しめるのである。博多駅からおよそ30分で久留米駅に到着。ここまでは鹿児島本線だが、同駅を発車すると進路を久大本線に向ける。久大本線は久留米と大分を結ぶ九州横断路線。九州の背骨に相当する脊梁山脈を越える山岳路線だ。それだけに車窓には山と渓谷が織り成す絶景が連続し、乗客たちの目を楽しませてくれる。途中、天領の水郷・日田、露天温泉で有名な天ヶ瀬、扇形機関庫が残る豊後森の3駅に停車し、11時31分、由布院駅に到着した。駅前通りの正面に由布岳(1,583m)がそびえる。今宵の宿は、由布岳を仰ぐ「湯布院カントリーロードユースホステル」で決まり!



鉄道写真家 櫻井寛

1954年長野県生まれ。鉄道員を目指し昭和鉄道高校に入学したが、在学中に鉄道写真の魅力にとりつかれ写真家に転向、日本大学芸術学部写真学科卒。出版社写真部に15年間勤務。90年にフォトジャーナリストとして独立し、今日に至る。93年、航空機を使わず陸路・海路のみで88日間世界一周。94年『鉄道世界夢紀行』で交通図書賞受賞。旅した国は95ヵ国、渡航回数は250回超。写真集『列車で行こう! The Railway World』(世界文化社刊)など著書多数。日本写真家協会、日本旅行作家協会会員。東京交通短期大学客員教授。



YH-GUIDE

ユースホステルガイド

北海道 / 青森県 / 岩手県 / 宮城県 / 秋田県 / 山形県

※掲載されている情報は2024年6月20日現在のものです。
各ユースホステルの最新情報は日本ユースホステル協会HPをご確認ください。

最北の旅の我が家

桃岩荘ユースホステル

Momoiwaso Youth Hostel

〒097-1201 北海道礼文郡礼文町香深



「愛とロマンの8時間コース」が有名で、ほぼ毎日ツアーを出しています。大勢で歩く1日は、いい思い出となることでしょう。また、夏はトド島探検、秋にはガンコウランのジャム作りなども行っています。ユースホステルの建物は西海岸にあり、天気が良ければ海に沈む夕日を見ることが出来ます。そして、夜はミーティング。みんなで歌って、踊って盛り上がってください。



JR宗谷本線「日進駅」から徒歩5分。バイクガレージまで舗装済み！

なよろサンピラーユースホステル

Nayoro Sunpillar Youth Hostel

〒096-0066 北海道名寄市日進391-2



宿から列車やラッセル車、きれいな夕陽が見えます。近くにひまわり畑、天文台、温泉、広大な公園、雪質日本一のスキー場、カーリング場があります。朝食は自家製焼きたてパンが基本です。全室空気清浄機、エアコン完備。



最北の旅の我が家

桃岩荘ユースホステル

Momoiwaso Youth Hostel

〒097-1201 北海道礼文郡礼文町香深



「愛とロマンの8時間コース」が有名で、ほぼ毎日ツアーを出しています。大勢で歩く1日は、いい思い出となることでしょう。また、夏はトド島探検、秋にはガンコウランのジャム作りなども行っています。ユースホステルの建物は西海岸にあり、天気が良ければ海に沈む夕日を見ることが出来ます。そして、夜はミーティング。みんなで歌って、踊って盛り上がってください。



ここは峠の小さな宿。灯りをともして旅人たちを迎えます

塩狩ヒュッテユースホステル

Shiokari Hütte Youth Hostel

〒098-0125 北海道上川郡和寒町塩狩503番2



北の果ての鉄路 JR 宗谷本線「塩狩駅」から徒歩2分、豊かな自然の中にポツンと建っています。線路際の立地で、すべての客室から鉄道を眺められます。ここ塩狩峠は三浦綾子さんの小説の舞台でもあり、情緒たっぷりです。



美瑛の丘散策に便利なJR 富良野先「美馬牛駅」から徒歩1分！

美馬牛リバティユースホステル

Bibaushi Liberty Youth Hostel

〒071-0462 北海道上川郡美瑛町字美馬牛南1-1-24



四季彩の丘まで徒歩20分！青い池まで車で20分！ファーム富田まで車で20分！旭山動物園まで車で45分！美瑛だけでなく富良野や旭川観光にも便利な立地です。お部屋にはテレビ、空気清浄機、エアコン完備の他、バスタオル、フェイスタオル、寝巻、歯ブラシ等のアメニティもご用意しております。また、浴室はおひとり様からご家族3~4人まで貸切でご利用いただけます。



世界一級の透明度を誇る摩周湖に一番近い宿

摩周湖ユースホステル

Mashuko Youth Hostel

〒088-3222 北海道川上郡弟子屈町弟子屈原野883



摩周湖第一展望台までわずか5.5km。車で10分弱の地の利を生かして思う存分、摩周湖を楽しんでください。周りは牧場が点在し、北海道のイメージそのままの風景が皆様をお迎えます。そんな素敵な環境にありながら、素泊まり料金は非常にリーズナブル！滞在型の宿泊にもうってつけです！



WHY NOT BIEI POTATO NO OKA IN WINTER?

美瑛ポテトの丘ユースホステル

Biei Potato no Oka Youth Hostel

〒071-0218 北海道上川郡美瑛町大村山



美瑛の丘が見渡せる展望室からは、十勝岳や旭岳などの大雪山系の山々が並び、四季を通じての山岳パノラマが楽しめる。XCスキーやマウンテンバイクで丘を散策したあとは、季節の野菜がいっぱいの家庭料理で、防音の談話室で夜遅くゆっくりと旅の交流を深めることができる。バス、トイレ付きのゲストルームも完備。写真撮影に絶好のロケーション。写真好きのマナージャーが穴場を伝授。



美しい自然と海の幸を満喫しませんか

厚岸愛冠ユースホステル

Akkeshi Aikappu Youth Hostel

〒088-1114 北海道厚岸郡厚岸町湾月2丁目8番地



厚岸は江戸時代に建立された国泰寺(ユースホステルのそばにあります)に始まり、歴史のある港町です。海岸の眺めも素晴らしく、のんびり歩くことをおすすめします。厚岸名物といえば、なんといってもカキ。グルメパーク・コンキリエはオープン以来、観光客で賑わっています。ユースホステルの食事は新鮮な地の物を使っていて、ボリュームもたっぷりです。



「休日ログハウスで！」が合言葉の本格的ログハウス

イルムの丘ユースホステル

Irumu no oka Youth Hostel

〒074-1273 北海道深川市音江町音江546-2



建物の周囲には、りんご園をメインに2ヘクタールの農園の景色が広がっています。四季折々の風情を味わいつつ、ゆったりとした田園風景の中でのんびりとおくつるぎください。



一人旅、大歓迎！広ーい十勝を味わえるアットホームな宿

池田北のコタンユースホステル

Ikada Kita no Kotan Youth Hostel

〒083-0031 北海道中川郡池田町利別西町99-4



池田・帯広を中心として十勝川流域に広がる十勝平野は、北海道らしい雄大な景観です。展望台あり、牧場あり、温泉ありと見どころがあふれています。当ユースホステルは定員が少なく、アットホームな宿です。のんびりとお過ごしください。



知床観光の拠点に最適♪感動の夕陽と満天の星空に出会うひと時を♪

YHA清里イーハトーヴユースホステル

YHA Kiyosato Ihatov Youth Hostel

〒099-4403 北海道斜里郡清里町向陽282



知床・道東観光、斜里岳登山の拠点として最適なロケーション。知床五湖ガイドツアー・熱気球フリーフライト・神の子池スノーシュー等のオホーツクをまるごと楽しむアクティビティ体験も満喫できます。

海の見えるお部屋あります

積丹ユースホステル

Shakotan Youth Hostel

〒046-0322 北海道積丹郡積丹町大字余別町297



海岸線には奇岩が立ち並び、透明度の高い海が広がる自然いっぱいの積丹半島。なかでも神威岬の朝日、夕日は大変感動的。一見の価値あります。積丹は道内屈指の港町なので、食卓には取れたての魚介類が並びます。積丹の郷土料理「浜ナベ」やウニ丼など、新鮮でおいしい食事をぜひ味わっててください。

絶景・雲海・大自然・デザイナーズホテル・元板前・温泉かけ流し

屈斜路原野ユースゲストハウス

Kussharo Genya Youth Guest House

〒088-3341 北海道川上郡弟子屈町字屈斜路原野443-1



食事は新鮮な山海の幸たっぷり！

島牧ユースホステル

Shimamaki Youth Hostel

〒048-0631 北海道島牧郡島牧村字千走21



島牧は北限帯のブナ林、道内一の質老の滝、高山植物の宝庫の狩場山・大平山、真青な日本海など本当の自然がいっぱい。特に日本一の面積を誇るブナの原生林は、これぞ本当の広葉樹の森という見事さです。この自然の中での野イチゴ摘み、きのご狩り、川でのイワナ釣り、舟でのヒラメ釣り、そしてユースホテル内での陶芸などなど体験メニューも充実しています。

大雪山の自然に囲まれた、源泉掛け流しの温泉宿

東大雪ぬかびらユースホステル

Higashidaisetsu Nukabira Youth Hostel

〒080-1403 北海道河東郡上士幌町ぬかびら源泉郷



ぬかびら源泉郷は大雪山国立公園内の静かな温泉街です。そばには糠平湖があり、カヌーや釣りが楽しめます。また、ニベツツ山や石狩岳などの登山基地でもあります。冬にはスキー場も営業し、四季を通じて楽しむことができます。当ユースホテルではこの豊かな自然環境に親しんでいただけるよう、各種のツアー、イベントを行っております。北海道の中央に位置しているので、旅の中継地としても便利な場所です。ご利用お待ちしております。

太平洋に面した小高い丘に建つ館・白い船！

室蘭ユースホステル

Muroran Youth Hostel

〒050-0084 北海道室蘭市みゆき町3-12-2



室蘭は太平洋に面して10数 kmにわたり、100m内外の断崖絶壁の自然美を誇っています。特に北海道三大岬のひとつ地球岬は圧巻。当ユースホテルはその一角の丘陵地帯にあり絶好のロケーション。前庭からの夜景、朝焼け、水平線からの日の出は感動的です。本建物は北海道建築の父・田上義也の作品で、歴史的建造物として名高い。

山小屋風、オーナー手作りのゆったりくつろげる宿

トイピルカ北帯広ユースホステル

Toipirka Kitaobihiro Youth Hostel

〒080-0272 北海道河東郡音更町下士幌4線東52-8



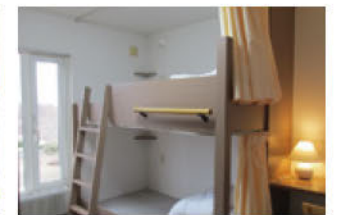
十勝の中心・帯広市の郊外にあり、アウトドア、グルメ、温泉、ガーデン巡りなどが楽しめます。食事は地場産の野菜、食材、無添加の調味料を使い、安心で安全な料理を提供するように心がけています。

日本海オロロンラインの真ん中です。天売島・焼尻島へはここから！

羽幌遊歩ユースホステル

Haboro Yuho Youth Hostel

〒078-4123 北海道苫前郡羽幌町栄町260



日高山脈が綺麗に見える星空自慢の宿

帯広八千代ユースホステル

Obihiro Yachiyo Youth Hostel

〒080-2336 北海道帯広市八千代町基線163



日高山脈が目の前に広がる朝の景色も夕日も美しいロケーション。周囲は北海道らしい田園地帯で空が大きく、星空を見るには絶好のポイントです。夕朝食は十勝産の食材、夏には自家菜園からの採れたて野菜、八千代の超軟水で炊きあげたご飯など、心を込めて提供しております。朝食の自家製パンはオープン以来、大変好評です。

「札幌駅」から地下鉄で6分。交通至便な都会派ユースホステル

札幌国際ユースホステル

Sapporo Kokusai Youth Hostel

〒062-0906 北海道札幌市豊平区豊平6条6丁目5-35



「札幌駅」から地下鉄で6分、地下鉄東豊線「学園前駅」の目の前の交通至便な場所にあります。周囲は高校、大学が立ち並び文教地区。大通公園や時計台、繁華街・ススキノまでは地下鉄で5分ほどで、市内の観光地散策にも便利です。また、札幌の街を縦断する豊平川や豊平公園、中島公園へも歩いて行くことができます。近くには道立スポーツ施設「きたえーる」もあり、スポーツなどの合宿にも適しています。

羊蹄山を眺めながら、のんびりと過ごしてください

まっかりユースホテル

Makkari Youth Hostel

〒048-1615 北海道虻田郡真狩村字線岡94-2



北海道を代表する羊蹄山の麓に広がる畑の中の一軒宿です。羊蹄山真狩登山口まで車で5分、登山やバックカントリースキーの基地として最適です。羊蹄の自然を満喫したら近くのまっかり温泉で疲れを癒してください。



静かな環境の中で交流・出会いを

エスポールみやぎユースホテル

Espole Miyagi Youth Hostel

〒983-0836 宮城県仙台市宮城野区幸町4-5-1



周辺地域は公的機関の建物が多く、静かで衛生的・安全な環境です。年間を通して交流・出会い事業を開催しており、参加していただくことができます。レストランは11年10月に新規開店し「地のもの、旬のもの」を提供。地酒も各種準備しています。館内には大中小の各研修室があり、80台収容可能な駐車場があります。日本三景松島、国宝大崎八幡神社へは共に車で30分です(送迎用のマイクロバスがありますのでお問い合わせください)。



北限のサル、カモシカなど自然観察に適した宿

脇野沢ユースホテル

Wakinosawa Youth Hostel

〒039-5332 青森県むつ市脇野沢瀬野川目41



1965年に開設した歴史あるユースホテルです。海と山を同時に見ることができる場所に建てており、自然と親しめます。世界で最も北に住むニホンザルや、特別天然記念物のニホンカモシカと出会う所でもあります。東北自然歩道をのんびり歩きながら、森の中のニホンザル・ニホンカモシカを観察するには最適の立地です。夏は仏ヶ浦まで観光船が就航し、海水浴も楽しめます。時間をたっぷりって、青い森を歩いてみませんか。



花の町柴田に新たなユースホテルがオープンしました!

ウェルかも船岡ユースホテル

Uerukamo Funaoka Youth Hostel

〒989-1604 宮城県柴田郡柴田町船岡東1-9-27-5



宮城県の南部に位置する柴田町船岡は、花と歴史の町です。桜百選の一目千本桜をはじめ四季を通して花々を楽しめます。福島・山形へのアクセスも良く、東北周遊の拠点にも便利です。旅のわが家としてご利用ください。



民話のふるさと遠野。旅人達の陽だまりの宿

遠野ユースホテル

Tono Youth Hostel

〒028-0555 岩手県遠野市土淵町土淵13-39-5



民話のふるさと遠野。その田園の真ん中に建つ小さなユースホテルは、ハイグレードながらものんびりできる空間を大切に、アットホームな宿です。どこにでもありそうな、みちのくの田園風景と北上の大自然の中に、いろいろな物語が隠されているのが遠野の里。遠野は見るところではなく、感じる所です。あなただけの「遠野物語」を創りに来てください。



横手盆地の真ん中、角館・横手の観光拠点

大曲ユースホテル

Omagari Youth Hostel

〒014-1412 秋田県大仙市藤木字甲本藤木46-1



横手盆地の真ん中、田園地帯にあるユースホテルです。角館、横手まで車で1時間かからない好立地にあります。春は角館の枝垂桜、夏は日本でも有数の大曲花火競技会、冬には横手や六郷のかまくら祭りなど四季を通じて多くのイベントが開催されます。さらにユースホテルから車で30分程度の距離に公共の温泉施設が多く点在していますので、温泉巡りも楽しめます。



夕食にも負けぬ朝ごはんでああなたの今日の旅を応援します

メープル仙台ユースホテル

Maple Sendai Youth Hostel

〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木1-9-35



仙台の街中にある自宅開放のユースホテルです。原則として男女別室の相部屋ですが、家族、グループ利用にも対応します。市内観光はもちろん、松島・蔵王・山寺・平泉などの観光にも、東北一の飲食街・国分町へ行くにも便利です。

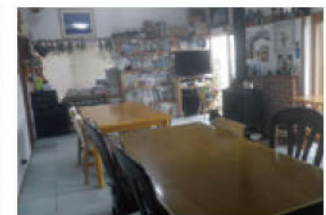


果樹園の中にある友人の家感覚の小さなお宿です

ひがしねベアフットユースホテル

Higashine Barefoot Youth Hostel

〒999-3765 山形県東根市神町南1-3-39



なつかしい海の景色がここにある。新鮮な海の幸が食べられるユースホテル。

リアス唐桑ユースホテル

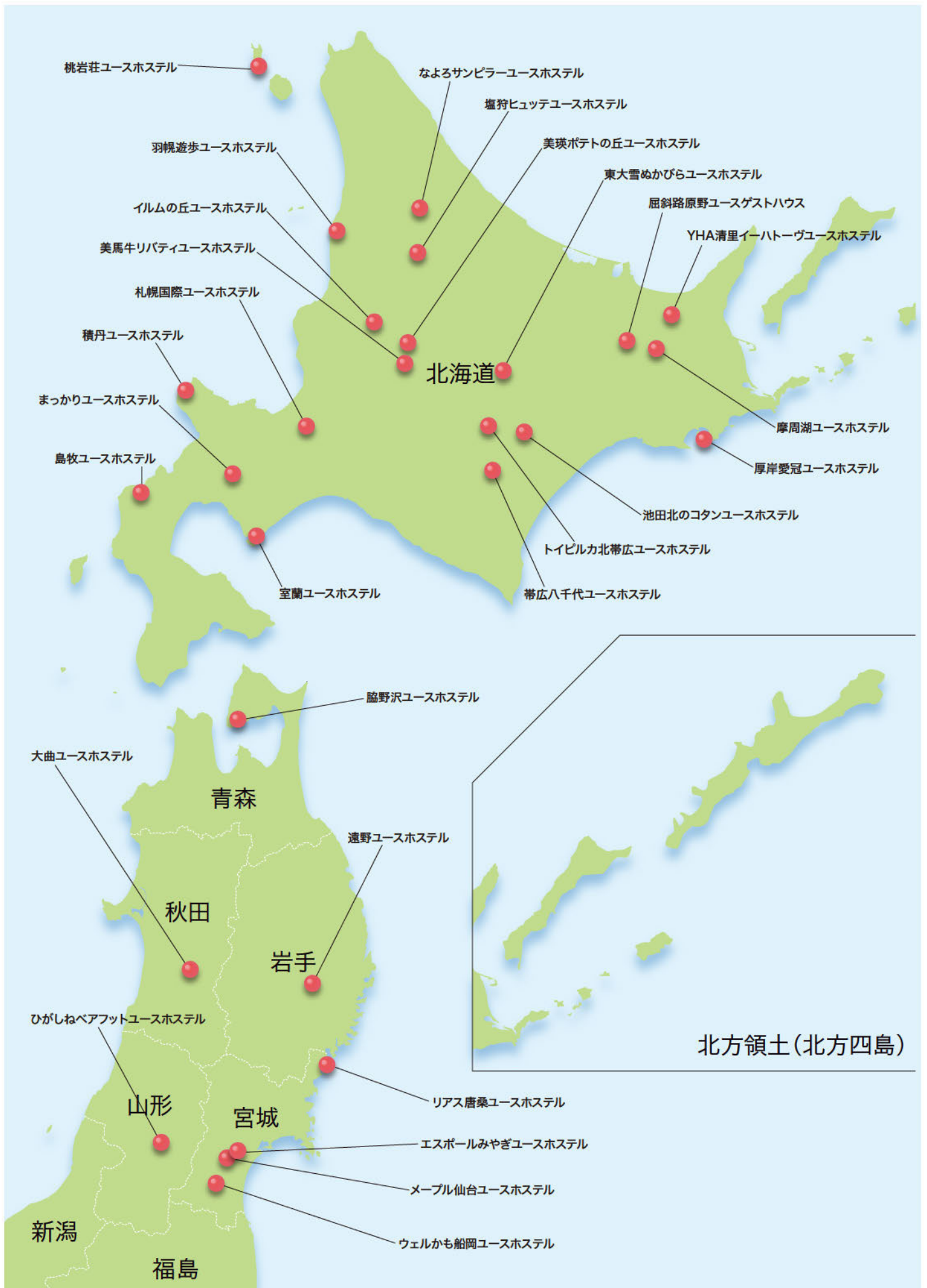
Riasu Karakuwa Youth Hostel

〒988-0563 宮城県気仙沼市唐桑町中井2-8



青森県八戸市から福島県相馬市までの海岸線をつなぐ1,000kmのロングトレイルのほぼ中間点にある半島です。また、宮城オルレの唐桑コースは10kmの半島散策コースで、変化に富んだ四季折々の自然が満喫できます。





文部科学省委託事業 日独ユースホステル指導者セミナー

日本ユースホステル協会では、隔年で開催しているドイツのユースホステル指導者との交流事業を2023年度に行いました。

この事業は文部科学省の委託事業で、コロナのため4年ぶりの催行となりました。

ユースホステルの役職員、各ユースホステルのマネージャー等が日本とドイツそれぞれの国を訪問して、その年のテーマに沿った研修を行い、今後の活動に役立てることを目的としています。日本からドイツへの派遣は9月21日～10月5日にかけて15日間で行われ、7名のユースホステル関係者が派遣され、バイエルン州、ザクセン州、ベルリンを訪問し「ユースホステルと持続可能な発展」というテーマに基づいて、ドイツの各ユースホステルで研修を実施しました。

特にドイツのユースホステルは、ユースホステルで提供する食材の活用方法や自然環境問題に関して多くのことに取り組んでおり、それぞれが実施しているプログラムの紹介や、関係者との意見交換を行いました。

また、ドイツからの受け入れは11月19日～12月3日にかけて15日間で行われ、東京、宮城、福島、京都、奈良、大阪を訪問。日本でのプログラムについては、各ユースホステルでの取り組みや東京都や千代田区による環境対策の実施例などを踏まえて意見交換を行い、東北と関西でのプログラムでは、ユースホス

テル協会のアレンジにより書道や茶道などの文化体験や学校訪問などを催しました。

日本の学校を体験できるプログラムとして福島市立福島第三小学校に訪問した際は、生徒の皆さんとの授業を通じた交流や学校給食を経験する機会となりました。

なお、次の指導者セミナーは、2025年度に実施される予定です。



この事業にご協力をいただいた団体

(独)国立青少年教育振興機構、国立磐梯青少年交流の家、東京都 都市整備局 都市づくり政策部、(公財)東京都ひとり親家庭福祉協議会、(公財)ハーモニセンター、千代田区 環境まちづくり部、福島市立福島第三小学校、東京セントラルユースホステル、東京上野ユースホステル、奈良ユースホステル、エスポールみやぎユースホステル、ユースゲストハウスATOMA、宮城県ユースホステル協会、福島県ユースホステル協会、(一財)東京都ユース・ホステル協会、(一財)京都ユースホステル協会・京都市宇多野ユースホステル、(公財)大阪ユースホステル協会・新大阪ユースホステル

ユースホステルに泊まって世界を旅しよう!

世界各国のユースホステルをおトクに利用するなら、ユースホステル会員がオススメ! ユースホステルの会員にはこんなメリットがあります!

国内外のユースホステルをおトクな会員価格でご利用いただけます!

国内外のユースホステルをおトクな会員価格※でご利用いただけます!

※予約方法や特別割引適用の場合等、宿泊プランによっては会員割引の適用がない場合もございますので予約時によくご確認ください。

割引提携施設をユースホステル会員割引価格でご利用いただけます!

旅行用品やレンタカーなど、充実した旅をサポートするサービスの割引が満載です!

日本国内の割引提携施設情報はこちら! → <http://www.jyh.or.jp/discount/>

詳細/ご登録はこちら!



ユースホステルインフォメーション

※マークは新型コロナウイルス感染拡大予防のための休館

■休館ユースホステル

谷川岳ラズベリーユースホステル(群馬県)	———	———	当分の間
ひのはらユースホステル(東京都)	———	———	当分の間※
ユースホステル池酒家(新潟県)	———	———	当分の間
ユースホステル唐島荘(富山県)	———	———	当分の間
能登漁火ユースホステル(石川県)	———	———	当分の間
ひだ高山天照寺ユースホステル(岐阜県)	———	———	当分の間
御前崎ユースホステル(静岡県)	———	———	当分の間
川根七曲宿ユースホステル(静岡県)	———	———	当分の間
あすけ里山ユースホステル(愛知県)	———	———	当分の間
ユースホステル太江寺(三重県)	———	———	当分の間
関空アレンジハウスユースホステル(大阪府)	———	———	当分の間※
森の宿うわじまユースホステル(愛媛県)	———	———	当分の間
高千穂ユースホステル(宮崎県)	———	———	当分の間
ユースホステルサンフラワー宮崎(宮崎県)	———	———	当分の間
霧島神宮前ユースホステル(鹿児島県)	———	———	当分の間

■閉館ユースホステル

角米沢屋旅館ユースホステル(新潟県)	———	———	令和6年3月31日付
白馬山麓レイクサイドユースホステル(長野県)	———	———	令和6年3月31日付
夕張フォレストユースホステル(北海道)	———	———	令和6年3月31日付
大雪山白樺荘ユースホステル(北海道)	———	———	令和6年3月31日付
カワヨグリーンユースホステル(青森県)	———	———	令和6年3月31日付
みざとユースホステル(福島県)	———	———	令和6年3月31日付
網走流氷の丘ユースホステル(北海道)	———	———	令和6年1月1日付
北条水軍ユースホステル(愛媛県)	———	———	令和5年12月31日付
五島三井楽サンセットユースホステル(長崎県)	———	———	令和5年8月31日付
裏磐梯ユースホステル(福島県)	———	———	令和5年3月31日付
リフォレ積丹ユースホステル(北海道)	———	———	令和5年3月31日付
大洲城山郷土館ユースホステル(愛媛県)	———	———	令和5年1月31日付
あしずりユースホステル(高知県)	———	———	令和5年1月31日付
大沼公園ユースホステル(北海道)	———	———	令和4年12月31日付

発行日:2024年6月20日/発行所:一般財団法人日本ユースホステル協会(〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内)/発行人:寺島真(日本ユースホステル協会)/制作協力:flotio LLC/企画:構成:池田和誠(flotio LLC)/アートディレクション&デザイン:高岡洋子/校正:西てるほ(株式会社YOSCA)/印刷:製本サンメッセ株式会社 ■巻頭インタビュー 協力:株式会社ピー・セブ/インタビュー:山田安紀子(株式会社YOAKE)/撮影:小林潤次(株式会社七彩工房) ■国内特集 協力:乗鞍高原温泉ユースホステル/取材・編集:佐藤史規(株式会社YOSCA)/撮影:日村峻輔 ■海外特集 コーディネーター:中村かれん(株式会社地球の歩き方)/取材・編集:田中健作(有限会社グルーポ・ピコ) ■連載 協力:櫻井寛(株式会社エクスペリス)/松島むら



一輪車



宝くじ桜



子宮がん検診車

宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。



救急普及啓発広報車



宝くじドリームジャンボ絵本



集会用テント



「健康手帳」(冊子)



ベンチ



リスザル展示施設

宝くじは、少子高齢化対策、災害対策、公園整備、教育及び社会福祉施設の建設改修などに使われています。



一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人 **日本宝くじ協会**
<https://jla-takarakuji.or.jp/>



一般財団法人日本ユースホステル協会



日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

こどもはおとなに。
おとなはこどもに、
なれる場所。



Hostelling Magazine vol.37



Cover Interview

渡部陽一

まずは“ひとつだけ”でいい。
相手のことを知ってみることから、
変えていこう。

P.02



Youth Hostel Pick up

乗鞍高原温泉
ユースホステル

「人と人のつながり」を紡ぐ
標高1,500mの温泉宿

P.08



Hostelling Magazine

× 地球の歩き方

パルの美食に酔いしれる
スペイン、バスク地方の旅

P.12



鉄道写真家 櫻井 寛

「列車で行こう！」

P.16



松島むうの

晴れときどき旅びより

P.18



YH-GUIDE

ユースホステルガイド

北海道 / 青森県 /
岩手県 / 宮城県 /
秋田県 / 山形県

P.20



Hostelling Magazine vol.37

まとめてダウンロード

※本誌の情報は2024年6月20日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL. (03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。